

対象校No. 977

注4

学校コード F130310109370

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

認可

注2

高野山大学

文学部

教育学科

(必要がある場合) ○○専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人高野山学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 河内長野キャンパス事務室

職名・氏名 シムチョウ オクダアキコ
事務長・奥田晃子
シヨキ ミヤモトヨシ
書記・宮本洋

電話番号 0721-53-1101

(夜間) 090-4908-8477

e-mail kyoiku@koyasan-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「○○大学」
- ・学部の設置の場合：「○○大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「○○大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院 ○○研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

文学部

＜教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	20
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	36

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人高野山学園

(2) 大学名 高野山大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒586-8511 大阪府河内長野市小山田町1685番地
 〒586-0004 大阪府河内長野市楠木町西1090番地
 (〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山385番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ソエダリュウショウ) 添田 隆昭 (平成25年7月5日)	(イマガワタイシン) 今川 泰伸 (令和3年7月5日)	添田隆昭理事長任期満了に伴う変更(4)
学長	(イヌイリュウニン) 乾 龍仁 (平成29年4月1日)	(ソエダリュウショウ) 添田 隆昭 (令和3年4月1日)	学長任期満了により交代(令和3年4月1日)(3)
副学長(河内長野キャンパス担当)		(オカモトマサシ) 岡本 正志 (令和3年4月1日)	学長の指名により副学長就任 (令和3年4月1日)(3)
		(ヨシダ アケシ) 吉田 明史 (令和5年4月1日)	岡本副学長退任に伴う変更(5)
学科長等	(オカモトマサシ) 岡本 正志 (令和3年4月1日)	(イマニシ コウゾウ) 今西 幸蔵 (令和3年4月1日)	岡本正志が副学長として就任したため学科主任をあらたに任命(令和3年4月1日)(4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学部 教育学科 学士(教育学)	教育学・保育学関係	4年	50人	2年次 人 3年次 人 4年次 人	200人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	50 () []	人 () []	50 () []	人 () []	50 () []	人 () []	50 () []	人 () []				
志願者数	() []	() []	() []	() []	18 () []	() []	20 () []	() []	9 () []	() []	5 () []	() []				
受験者数	() []	() []	() []	() []	15 () []	() []	20 () []	() []	9 () []	() []	5 () []	() []		0.21倍		倍
合格者数	() []	() []	() []	() []	15 () []	() []	20 () []	() []	9 () []	() []	5 () []	() []				
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	11 () []	() []	20 () []	() []	7 () []	() []	5 () []	() []				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	0.22	-	0.4	-	0.18	-	0.14	-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に「春季入学以外の学期区分が設定を中止している場合は、「春季入学以外の学期区分」に「-」と「春季入学以外の学期区分」を記入してください。
- ・ (春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
- ・ なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	11 [-] (-)	- [-] (-)	20 [-] (-)	- [-] (-)	7 [-] (-)	- [-] (-)	5 [-] (-)	- [-] (-)	編入学生2名を含む 編入学生2名を含む
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	11 [-] (-)	- [-] (-)	17 [-] (1)	- [-] (-)	7 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	11 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計			- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)			11 [-] (-)	- [-] (-)	31 [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	11 人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	31 人	5 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	5 人	0 人	
令和5年度	35 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	42 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合計		5 人		5 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{31} = \boxed{16.12} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{35} = \boxed{0} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{42} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎科目	目 精神学	空海の思想入門	1前	2									兼1	
		小計(1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1	
	基礎ゼミ科目	基礎ゼミⅠ	1前	2			1		1					
		基礎ゼミⅡ	1後	2				2						
		基礎ゼミⅢ	2前	2			1		1					
		基礎ゼミⅣ	2後	2				2						
		小計(4科目)	-	8	0	0	2	5	1	0	0	0	兼0	
	科目 外国語コミュニケーション	English Communication I	1通	2			1							兼1
		English Communication II	2通	2			1							兼1
		English Communication III	3通		1		1							
		高野山国際ガイド体験	2通		1		1							
		中国語	2通		2									兼1
		小計(5科目)	-	4	4	0	2	0	0	0	0	0	兼2	
	科目 キャリア	キャリアデザインⅠ	1後	2			1							
		キャリアデザインⅡ	2前	2			1							
		キャリアデザインⅢ	3後		2		1							
		小計(3科目)	-	4	2	0	1	0	0	0	0	0	兼0	
	教養科目	ほとけの世界	1前	2										兼1
		日本国憲法	1前	2										兼1
		情報と教育	1後	2										兼1
体育の理論と実技		1後		2					1					
生涯学習論		3前	2			1								
平和教育		3前	2			1								
人権と社会		3後	2					1						
AIと世界		1後		2									兼1	
世界遺産と観光		1前	2										兼1	
死生観		3後	2					1						
身体技法(ダンス)		1前	1										兼1	
(未開講)														
現代社会と医療		1前	2										兼1	
(未開講)														
世界の医療課題		1後	2										兼1	
(未開講)														
常用経典		3通	2										兼1	
声明	3通	2										兼1		
法式	3通	2										兼1		
布教	3通	2										兼1		
	小計(17科目)	-	12	21	0	1	2	1	0	0	0	兼9		
専門科目	理論的科目 教職専門科目	教育原理	1後	2									兼2	
		教職入門	1後	2			1							
		教育と社会	2後	2			1							
		教育心理学	2前	2									兼1	
		特別支援教育	2前	2									兼1	
		教育課程論	2後		2		1							
		保育教育課程論	3前		2		1							
		道徳教育の理論と方法	2後	2									兼1	
		総合的な学習の時間の指導法	3後	2					1					
		特別活動の指導法	3前	2									兼1	
		教育方法論	3前	2			1							
		生徒指導論	2後	2			1							
		幼児理解方法論	1後	2									兼1	
		教育相談	2前	2					1					
		進路指導・キャリア教育	2後	2									兼1	
		教師力養成特講Ⅰ(HRマネジメント)	3前	2									兼1	
		教師力養成特講Ⅱ(学校理解)	3前	2									兼1	
		教職とICT	3後	2									兼1	
	小計(18科目)	-	14	22	0	3	2	0	0	0	0	兼9		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	小学校教諭関係科目	国語科内容論	1前	2			1					兼1
		社会科内容論	1後	2			1					
		算数科内容論	2後	2								
		理科内容論	1前	2			1					
		生活科内容論	2後	2				1				
		音楽科内容論	1前	2				1				兼1
		図画工作科内容論	2前	2								
		家庭科内容論	1後	2				1				
		体育科内容論	2前	2					1			
		初等英語科内容論	1前	2					1			
		国語科指導法	2前	2				1				
		社会科指導法	2前	2				1				兼1
		算数科指導法	3後	2								
		理科指導法	2前	2			1					
		生活科指導法	3前	2				1				
		音楽科指導法	2前	2				1				兼1
		図画工作科指導法	3前	2								
		家庭科指導法	2後	2				1				
		体育科指導法	3前	2					1			
		初等英語科指導法	2後	2					1			
		授業実践研究Ⅰ(初等教材開発)	2前	2								兼1
		授業実践研究Ⅱ(理科実験開発)	2後	2			1					
		音楽Ⅰ(表現技法)	1後	1								兼1
		音楽Ⅱ(表現技法)	2後	1								
	小計(24科目)	-	0	46	0	1	5	2	0	0	0	兼4
	幼稚園教諭関係科目	幼児と健康	1前	2				1				兼1
		幼児と人間関係	1後	2								
		幼児と環境	2前	2			1					兼1
		幼児と言葉	2前	2								
		幼児と表現	2前	2				1				兼1
		保育内容の指導法(健康)	3前	2					1			
		保育内容の指導法(人間関係)	3前	2								兼1
		保育内容の指導法(環境)	3後	2				1				
保育内容の指導法(言葉)		3前	2								兼1	
保育内容の指導法(造形表現)		3前	2									
保育内容の指導法(音楽表現)	3後	2					1			兼1		
小計(11科目)	-	0	22	0	1	2	1	0	0	0	兼3	
保育士関係科目	保育原理	2後	2								兼1	
	子ども家庭福祉	2後	2			1						
	社会福祉論	1前	2				1				兼1	
	子ども家庭支援論	3後	2				1					
	社会的養護Ⅰ	3前	2				1				兼1	
	保育者論	1前	2									
	保育の心理学	2後	2								兼1	
	子ども家庭支援の心理学	2後	2									
	子どもの保健	1前	2								兼1	
	子どもの食と栄養	3後	2				1					
	保育内容総論	2前	2								兼1	
	乳児保育Ⅰ	2前	2									
	乳児保育Ⅱ	2後	2								兼1	
	子どもの健康と安全	2後	2					1				
	障害児保育	1後	2								兼1	
	社会的養護Ⅱ	3前	2				1					
	子育て支援	3後	2				1				兼1	
	表現技術(ピアノ)	2後	2				1					
	表現技術(造形)	2後	2								兼1	
小計(19科目)	-	0	38	0	0	3	1	0	0	0		兼8

【令和3年度】

専門科目	理論的科目	発達心理学	2後	2															兼1			
		カウンセリング論	2後	2				1														
		学校臨床心理学	2後	2				1														
		心理身体論Ⅰ	3前	2				1														
		心理身体論Ⅱ	3後	2																兼1		
		小計(5科目)	-	0	10	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2		
	体験的科目	体験サポート科目	地域体験基礎	1前	2				1													
			科学技術と社会	1後	2			1														
			植物栽培の基本	1前	2																	兼1
			自然と人間	1後	2																	兼1
			日本文化	1前	2																	兼1
			文学	1後	2					1												
			創作研究	1前	2			1														
			茶道	1後	2																	兼1
書学入門(書道)			1後	2																	兼1	
地域体験特論			2後	2			1	1														
	小計(10科目)	-	2	18	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼5			
体験的科目	教育実習科目	教育実習Ⅰ(小)	3通	4			1															
		教育実習Ⅱ(幼1)	3通	2			1															
		教育実習Ⅲ(幼2)	4通	2				1														
		保育実習Ⅰ(保育所)	3通	2						1												
		保育実習Ⅰ(福祉施設)	3通	2					1													
		保育実習Ⅱ	4通	2							1											
		保育実習Ⅲ	4通	2					1													
		教育実習の研究Ⅰ(小・事前事後指導)	3通	1				1														
		教育実習の研究Ⅱ(幼1・事前事後指導)	3通	1				1														
		教育実習の研究Ⅲ(幼2・事前事後指導)	4通	1					1													
		保育実習指導Ⅰ(保育所)	3通	1							1											
		保育実習指導Ⅰ(福祉施設)	3通	1						1												
		保育実習指導Ⅱ	4通	1								1										
		保育実習指導Ⅲ	4通	1								1										
	小計(14科目)	-	0	23	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0			
体験的科目	体験実習科目	学校・保育現場体験Ⅰ	1通	2			1															
		学校・保育現場体験Ⅱ	2通	2			2															
		学校・保育現場ボランティア	3通	1					2													
		地域体験Ⅰ	1通	1			1															
		地域体験Ⅱ	1通	1				1														
		地域体験Ⅲ	2通	1				1														
		地域体験Ⅳ	2通	1				1														
		地域体験ボランティア	3通	1							1											
		海外留学体験	2通	4			1															
	小計(9科目)	-	8	6	0	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0			
課題探求科目	課題探求科目	教職実践演習(幼・小)	4後	2			1															
		保育実践演習	4後	2				1														
		専門基礎演習Ⅰ	3前	2			4	8	1													
		専門基礎演習Ⅱ	3後	2			4	8	1													
		専門演習Ⅰ	4前	2			4	8	1													
		専門演習Ⅱ	4後	2			4	8	1													
		卒業研究	4通	8			4	8	1													
			小計(7科目)	-	16	4	0	4	8	1												兼0
合計(147科目)			-	70	216	0	7	8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼38		

卒業要件及び履修方法

基礎科目から下記の30単位以上修得

- ・建学の精神科目 必修科目2単位
- ・基礎ゼミ科目 必修科目8単位
- ・外国語コミュニケーション科目 必修科目4単位
- ・キャリア科目 必修科目4単位
- ・教養科目 必修科目12単位

専門科目から下記の64単位以上修得

- ・理論的科目の教職専門科目 必修科目14単位
- ・理論的科目の小学校教諭関係科目または幼稚園教諭関係科目の選択科目68単位のうち、20単位以上
- ・理論的科目の体験サポート科目 必修科目2単位を含む6単位以上
- ・体験的科目の体験実習科目 必修科目8単位
- ・課題探求科目 必修科目16単位

基礎科目、専門科目の上記要件を満たし、さらに選択科目30単位以上、併せて124単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限50単位)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・就任辞退により、「基礎ゼミⅠ」「体育の理論と実技」「体育科内容論」「体育科指導法」「幼児と健康」「保育内容の指導法(健康)」「子どもの健康と安全」「保育実習Ⅰ(保育所)」「保育実習Ⅱ」「保育実習指導Ⅰ(保育所)」「保育実習指導Ⅱ」「地域体験ボランティア」「専門基礎演習Ⅰ」「専門基礎演習Ⅱ」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授1」から「専任講師1」に変更。
・就任辞退により、「音楽科内容論」「音楽科指導法」「幼児と表現」「保育内容の指導法(音楽表現)」「表現技術(レバ)」「教育実習Ⅲ(幼2)」「教育実習の研究Ⅲ(幼2・事前事後指導)」「保育実践演習」「専門基礎演習Ⅰ」「専門基礎演習Ⅱ」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」の専任教員等の配置を「専任講師1」から「准教授1」に変更。

【令和4年度】

・伊藤佳世子教授の担当コマ数を軽減するため、「English CommunicationⅡ」を森本敦子専任講師の担当とした。
・教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令の施行により「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」において1単位以上の授業時間数を確保するため、授業科目名称を変更して対応した。教育方法論→教育方法論・ICT活用論。

【令和5年度】

・岡本正志教授の退任により、「科学技術と社会」「地域体験特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
・松本歩子准教授の退任により、「家庭科内容論」「家庭科指導法」「子どもの食と栄養」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。
・カリキュラム充実のため、新規科目「数学の世界」を追加し、専任教授(副学長)吉田明史を追加した。
・専任森崎雅好准教授「死生観」「学校臨床心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から兼1に変更。

【令和6年度】

・「幼児理解方法論」非常勤講師から溝渕淳准教授に変更した為、兼1から「准教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
34 科目	113 科目	0 科目	147 科目	34 科目 []	128 科目 [▲6]	0 科目 []	162 科目 [▲6]	履修者0により未開講科目9

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{147} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大阪千代田短期大学（必要面積3,000㎡）、大阪 暁光高校（収容定員840 名、面積基準8,400㎡） と共用 ・借用面積：22,981㎡、 借用期間：令和3年4月1 日から令和23年3月31日 ・借用面積：12,648㎡、 借用期間：平成31年4月1 日から令和6年3月31日 ・借用面積：4,095㎡、 借用期間：期間定め無し		
	校舎敷地	24,018㎡	3,982㎡	1,787㎡	29,787㎡			
	運動場用地	12,648㎡	4,224㎡	12,881㎡	29,753㎡			
	小 計	36,666㎡	8,206㎡	14,668㎡	59,540㎡			
	そ の 他	5,011㎡	14,775㎡	8,539㎡	28,325㎡			
	合 計	41,677㎡	22,981㎡	23,207㎡	87,865㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大阪千代田短期大学（必要面積2,850㎡）、大阪 暁光高等学校（収容定員 840名、必要面積5,160 ㎡）と共用 ・借用面積：8,675㎡、 借用期間：令和3年4月1 日から令和23年3月31日			
	(13,563㎡)	(8,166㎡)	(9,528㎡)	(31,257㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体うち講義室14 室、演習室2室、実験実 習室4室、情報処理学習 室1室は大阪千代田短期 大学と共用。実験実習室 1室は大阪暁光高校と共用		
	34室	10室	8室	2室 (補助職員0人)	1室 (補助職員0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	文学部 教育学科			16 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分 ・図書322,317冊 ・学術雑誌2,125種 ・電子ジャーナル19種 ・視聴覚資料5,250点 大阪千代田短期大学との 共用分全体 ・図書79,597冊 ・学術雑誌28種 ・視聴覚資料1,895点
	文学部 教育学科	37,022 [1,500] (27,022 [1,017])	40 [24] (28 [18])	0 [0] (0 [0])	2,000 (1,895)	20 (0)	50 (0)	
	計	37,022 [1,500] (27,022 [1,017])	40 [24] (28 [18])	0 [0] (0 [0])	2,000 (1,895)	20 (0)	50 (0)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 図書館のうち面積375 ㎡・閲覧座席数59席・収 容可能冊数83,000冊体育 館のうち面積654㎡は大 阪千代田短期大学と共用	
	2,401㎡		149席		450,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					
	1,640㎡		第1リズム室 237㎡		武道場 197㎡			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	240千円	240千円	図書購入費	5,077千円	2,000千円	2,000千円
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	44,707千円	7,304千円	1,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,380千円	1,180千円	1,180千円	1,180千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、寄付金等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を**赤字で見え消し**修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に**赤字で**記入してください。
なお、昨年度の報告において**赤字で見え消し**した部分については、**見え消しのまま黒字**にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	高野山大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
文学部	年	人	年次人	人	-	倍	倍	年度	年度	-	令和3年度入学生より学生募集停止			
密教学科	4	80	-	320	学士(文学)	0.81	0.80	-	昭和24	-				
人間学科	4	30	-	120	学士(文学)	1.82	1.80	-	昭和24	和歌山県伊都郡高野町高野山385				
文学部					-						令和3年度新設			
教育学科	4	50	-	200	学士(教育学)	0.21	0.21	-	令和3	大阪府河内長野市小山田町1685 大阪府河内長野市橋本町西1090				
大学全体	4	80	-	320	-	-	-	-	-	-				

5 教員組織の状況

<文学部 教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

		【令和3年度】		【令和4年度】		【令和5年度】		【令和6年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授(副学長・学部長)	岡本 正志 (72) <令和3年4月> 教育学修士	岡本 正志 (72) <令和3年4月> 教育学修士	岡本 正志 (73) <令和3年4月> 教育学修士	岡本 正志 (74) <令和3年4月> 教育学修士	吉田 明史 (70) <令和5年4月> 教育学士	吉田 明史 (71) <令和5年4月> 教育学士	吉田 明史 (71) <令和5年4月> 教育学士	吉田 明史 (71) <令和5年4月> 教育学士
専	教授	科学技術と社会 地域体験特論 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	科学技術と社会	科学技術と社会 地域体験特論	科学技術と社会 地域体験特論	数学の世界	数学の世界	数学の世界	数学の世界
専	教授	今西 幸蔵 (73) <令和3年4月> 文学士	今西 幸蔵 (73) <令和3年4月> 文学士	今西 幸蔵 (74) <令和3年4月> 文学士	今西 幸蔵 (75) <令和3年4月> 文学士	今西 幸蔵 (75) <令和3年4月> 文学士	今西 幸蔵 (76) <令和3年4月> 文学士	今西 幸蔵 (76) <令和3年4月> 文学士	今西 幸蔵 (76) <令和3年4月> 文学士
専	教授	基礎ゼミⅢ 教職入門 生徒指導論 学校・保育現場体験Ⅰ 教職実践演習(幼・小) 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	教職入門 学校・保育現場体験Ⅰ	教職入門 学校・保育現場体験Ⅰ 生徒指導論	教職入門 学校・保育現場体験Ⅰ 基礎ゼミⅢ 生徒指導論	教職入門 学校・保育現場体験Ⅰ 基礎ゼミⅢ 生徒指導論 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ(未開講) 専門演習Ⅱ(未開講)	教職入門 学校・保育現場体験Ⅰ 基礎ゼミⅢ 生徒指導論 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ(未開講) 専門演習Ⅱ(未開講)	教職入門 学校・保育現場体験Ⅰ 基礎ゼミⅢ 生徒指導論 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ(未開講) 専門演習Ⅱ(未開講)	教職入門 学校・保育現場体験Ⅰ 基礎ゼミⅢ 生徒指導論 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ(未開講) 専門演習Ⅱ(未開講)
専	教授	蒨野(中村)久美子 (69) <令和3年4月> 文学士	蒨野(中村)久美子 (69) <令和3年4月> 文学士	蒨野(中村)久美子 (70) <令和3年4月> 文学士	蒨野(中村)久美子 (71) <令和3年4月> 文学士	蒨野(中村)久美子 (71) <令和3年4月> 文学士	蒨野(中村)久美子 (72) <令和3年4月> 文学士	蒨野(中村)久美子 (72) <令和3年4月> 文学士	蒨野(中村)久美子 (72) <令和3年4月> 文学士
専	教授	English CommunicationⅢ キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ	キャリアデザインⅠ	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ English CommunicationⅢ	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ English CommunicationⅢ	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ English CommunicationⅢ	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ English CommunicationⅢ	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ キャリアデザインⅢ English CommunicationⅢ
専	教授	伊藤 佳世子 (62) <令和3年4月> 修士 (英語学英米文学専攻) ※	伊藤 佳世子 (62) <令和3年4月> 修士 (英語学英米文学専攻) ※	伊藤 佳世子 (63) <令和3年4月> 修士 (英語学英米文学専攻) ※	伊藤 佳世子 (64) <令和3年4月> 修士 (英語学英米文学専攻) ※	伊藤 佳世子 (64) <令和3年4月> 修士 (英語学英米文学専攻) ※	伊藤 佳世子 (65) <令和3年4月> 修士 (英語学英米文学専攻) ※	伊藤 佳世子 (65) <令和3年4月> 修士 (英語学英米文学専攻) ※	伊藤 佳世子 (65) <令和3年4月> 修士 (英語学英米文学専攻) ※
専	教授	English CommunicationⅠ English CommunicationⅡ 高野山国際ガイド体験 創作研究 海外留学体験 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	English CommunicationⅠ 創作研究 海外留学体験(未開講)	English CommunicationⅠ 創作研究 高野山国際ガイド体験 海外留学体験(未開講)	English CommunicationⅠ 創作研究 高野山国際ガイド体験 海外留学体験(未開講)	English CommunicationⅠ 創作研究(未開講) 高野山国際ガイド体験 Phonetics in Education Critical Thinking and Creative Writing 海外留学体験 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	English CommunicationⅠ 創作研究(未開講) 高野山国際ガイド体験 Phonetics in Education Critical Thinking and Creative Writing 海外留学体験 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	English CommunicationⅠ 創作研究(未開講) 高野山国際ガイド体験 Phonetics in Education Critical Thinking and Creative Writing 海外留学体験 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	English CommunicationⅠ 創作研究(未開講) 高野山国際ガイド体験 Phonetics in Education Critical Thinking and Creative Writing 海外留学体験 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
専	教授	児島 昌雄 (69) <令和3年4月> 教育学 修士	児島 昌雄 (69) <令和3年4月> 教育学 修士	児島 昌雄 (70) <令和3年4月> 教育学 修士	児島 昌雄 (71) <令和3年4月> 教育学 修士	児島 昌雄 (71) <令和3年4月> 教育学 修士	児島 昌雄 (72) <令和3年4月> 教育学 修士	児島 昌雄 (72) <令和3年4月> 教育学 修士	児島 昌雄 (72) <令和3年4月> 教育学 修士
専	教授	理科内容論 理科指導法 授業実践研究Ⅱ(理科実験開発) 幼児と環境	理科内容論	理科内容論 理科指導法 授業実践研究Ⅱ(理科実験開発) 幼児と環境	理科内容論 理科指導法 授業実践研究Ⅱ(理科実験開発) 幼児と環境	理科内容論 理科指導法 授業実践研究Ⅱ(理科実験開発) 幼児と環境	理科内容論 理科指導法 授業実践研究Ⅱ(理科実験開発) 幼児と環境	理科内容論 理科指導法 授業実践研究Ⅱ(理科実験開発) 幼児と環境	理科内容論 理科指導法 授業実践研究Ⅱ(理科実験開発) 幼児と環境
専	教授	山田 正行 (67) <令和3年4月> 博士 (教育学)	山田 正行 (67) <令和3年4月> 博士 (教育学)	山田 正行 (68) <令和3年4月> 博士 (教育学)	山田 正行 (69) <令和3年4月> 博士 (教育学)	山田 正行 (70) <令和3年4月> 博士 (教育学)	山田 正行 (70) <令和3年4月> 博士 (教育学)	山田 正行 (70) <令和3年4月> 博士 (教育学)	山田 正行 (70) <令和3年4月> 博士 (教育学)
専	教授	基礎ゼミⅠ※ 生涯学習論 平和教育 教育と社会 学校・保育現場体験Ⅱ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	基礎ゼミⅠ※	基礎ゼミⅠ※ 教育と社会 学校・保育現場体験Ⅱ	基礎ゼミⅠ※ 教育と社会 学校・保育現場体験Ⅱ	基礎ゼミⅠ※ 教育と社会 学校・保育現場体験Ⅱ 生涯学習論 平和教育 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	基礎ゼミⅠ※ 教育と社会 学校・保育現場体験Ⅱ 生涯学習論 平和教育 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	基礎ゼミⅠ※ 教育と社会 学校・保育現場体験Ⅱ 生涯学習論 平和教育 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	基礎ゼミⅠ※ 教育と社会 学校・保育現場体験Ⅱ 生涯学習論 平和教育 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
専	教授	上野 和久 (68) <令和4年4月> 教育学修士	上野 和久 (68) <令和4年4月> 教育学修士	上野 和久 (68) <令和4年4月> 教育学修士	上野 和久 (68) <令和4年4月> 教育学修士	上野 和久 (69) <令和4年4月> 教育学修士	上野 和久 (70) <令和4年4月> 教育学修士	上野 和久 (70) <令和4年4月> 教育学修士	上野 和久 (70) <令和4年4月> 教育学修士
専	教授	教育相談 カウンセリング論 心理身体論Ⅰ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究	教育相談 カウンセリング論	教育相談 カウンセリング論	教育相談 カウンセリング論 心理身体論Ⅰ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ	教育相談 カウンセリング論 心理身体論Ⅰ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	教育相談 カウンセリング論 心理身体論Ⅰ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	教育相談 カウンセリング論 心理身体論Ⅰ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	教育相談 カウンセリング論 心理身体論Ⅰ 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ
専	教授	八木 菜二 (75) <令和4年4月> 教育学修士	八木 菜二 (75) <令和4年4月> 教育学修士	八木 菜二 (75) <令和4年4月> 教育学修士	八木 菜二 (75) <令和4年4月> 教育学修士	八木 菜二 (76) <令和4年4月> 教育学修士	八木 菜二 (77) <令和4年4月> 教育学修士	八木 菜二 (77) <令和4年4月> 教育学修士	八木 菜二 (77) <令和4年4月> 教育学修士
専	教授	教育課程論 保育教育課程論 教育方法論		教育課程論	教育課程論	教育課程論 保育教育課程論 教育方法論・ICT活用論(科目 名称変更)	教育課程論 保育教育課程論 教育方法論・ICT活用論	教育課程論 保育教育課程論 教育方法論・ICT活用論	教育課程論 保育教育課程論 教育方法論・ICT活用論

専	准教授	森崎 雅好 (49) <令和4年4月> 教育学修士
		死生論 学校臨床心理学 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	佐藤 慶治 (34) <令和3年4月> 博士 (比較社会文化)
		音楽科内容論 音楽科指導法 幼児と表現 保育内容の指導法(音楽表現) 表現技術(ピアノ) 教育実習Ⅲ(幼2) 教育実習の研究Ⅲ(幼2・事前事後指導) 保育実践演習 専門基礎演習Ⅰ 専門基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究
専	講師	森本 敦子 (46) <令和3年4月> 児童英語教授法 修士 英国
		初等英語科内容論 初等英語科指導法
兼任	教授	乾 龍仁 (68) <令和3年4月> 文学修士 ※
		空海の思想入門
兼任	准教授	野田 楨 (50) <令和3年4月> 博士号 (文学) 中華人民共和国
		書学入門(書道)
兼任	講師	柏原 陽子 (57) <令和3年4月> 文学修士
		English Communication I English Communication II
兼任	講師	劉 燕子 (56) <令和3年4月> 修士 (文学)
		中国語
兼任	講師	永島 龍弘 (77) <令和3年4月> 修士 (文学)
		ほとけの世界
兼任	講師	喜木 淳英 (45) <令和3年4月> 法学 修士
		日本国憲法
兼任	講師	廣瀬 謙則 (57) <令和3年4月> 理学士
		情報と教育 AIと世界 教職とICT

専	准教授	森崎 雅好 (49) <令和4年4月> 教育学修士
		音楽科内容論
専	講師	森本 敦子 (46) <令和3年4月> 児童英語教授法 修士 英国
		初等英語科内容論
兼任	教授	通田 隆昭 (73) <令和3年4月> 文学修士 ※
		空海の思想入門
兼任	准教授	野田 楨 (50) <令和3年4月> 博士号 (文学) 中華人民共和国
		書学入門(書道)
兼任	講師	担当なし
		担当なし
兼任	講師	劉 燕子 (56) <令和3年4月> 修士 (文学)
		中国語(未開講)
兼任	講師	永島 龍弘 (77) <令和3年4月> 修士 (文学)
		ほとけの世界
兼任	講師	喜木 淳英 (45) <令和3年4月> 法学 修士
		日本国憲法
兼任	講師	廣瀬 謙則 (57) <令和3年4月> 理学士
		情報と教育 AIと世界

専	准教授	森崎 雅好 (49) <令和4年4月> 教育学修士
		学校臨床心理学
専	准教授	植田 恵理子 (61) <令和3年4月> 修士 (児童教育学) ※
		音楽科内容論 音楽科指導法 幼児と表現 表現技術(ピアノ)
専	講師	森本 敦子 (46) <令和3年4月> 児童英語教授法 修士 英国
		初等英語科内容論 初等英語科指導法 English Communication II
兼任	教授	通田 隆昭 (74) <令和3年4月> 文学修士 ※
		空海の思想入門
兼任	准教授	野田 楨 (51) <令和3年4月> 博士号 (文学) 中華人民共和国
		書学入門(書道)
兼任	講師	担当なし
		担当なし
兼任	講師	劉 燕子 (57) <令和3年4月> 修士 (文学)
		中国語(未開講)
兼任	講師	永島 龍弘 (78) <令和3年4月> 修士 (文学)
		ほとけの世界
兼任	講師	森 征樹 (51) <令和4年4月> 留学・歴史学 修士
		日本国憲法
兼任	講師	廣瀬 謙則 (58) <令和3年4月> 理学士
		情報と教育 AIと世界

専	准教授	植田 恵理子 (62) <令和3年4月> 修士 (児童教育学) ※
		音楽科内容論 音楽科指導法 幼児と表現 表現技術(ピアノ) 保育内容の指導法(音楽表現) 教育実習Ⅲ(幼2) 教育実習の研究Ⅲ(幼2・事前事後指導) 専門基礎演習Ⅰ(未開講) 専門基礎演習Ⅱ(未開講) 専門基礎演習Ⅲ(未開講) 教育実習Ⅱ(幼1)
専	講師	森本 敦子 (46) <令和3年4月> 児童英語教授法 修士 英国
		初等英語科内容論 初等英語科指導法 English Communication II
兼任	教授	通田 隆昭 (75) <令和3年4月> 文学修士 ※
		空海の思想入門
兼任	教授	野田 楨 (52) <令和3年4月> 博士号 (文学) 中華人民共和国
		書学入門(書道)
兼任	教授	森崎 雅好 (50) <令和4年4月> 教育学修士
		学校臨床心理学 死生論(未開講)
兼任	講師	担当なし
		担当なし
兼任	講師	劉 燕子 (58) <令和3年4月> 修士 (文学)
		中国語(未開講)
兼任	講師	高橋 成明 (54) <令和5年4月> 修士 (文学)
		ほとけの世界
兼任	講師	森 征樹 (52) <令和4年4月> 哲学・歴史学 修士
		日本国憲法
兼任	講師	廣瀬 謙則 (59) <令和3年4月> 理学士
		AIと世界(未開講) 教職とICT

専	准教授	植田 恵理子 (63) <令和3年4月> 修士 (児童教育学) ※
		音楽科内容論 音楽科指導法 幼児と表現 表現技術(ピアノ) 保育内容の指導法(音楽表現) 教育実習Ⅲ(幼2) 教育実習の研究Ⅲ(幼2・事前事後指導) 専門基礎演習Ⅰ(未開講) 専門基礎演習Ⅱ(未開講) 教育実習Ⅱ(幼1) 専門演習Ⅰ(未開講) 専門演習Ⅱ(未開講)
専	講師	森本 敦子 (49) <令和3年4月> 児童英語教授法 修士 英国
		初等英語科内容論 初等英語科指導法 English Communication II 第二言語習得概論
兼任	教授	通田 隆昭 (76) <令和3年4月> 文学修士 ※
		空海の思想入門 常用経典 声明
兼任	教授	野田 楨 (53) <令和3年4月> 博士号 (文学) 中華人民共和国
		書学入門(書道)
兼任	教授	森崎 雅好 (51) <令和4年4月> 教育学修士
		死生論
兼任	講師	担当なし
		担当なし
兼任	講師	劉 燕子 (59) <令和3年4月> 修士 (文学)
		中国語(未開講)
兼任	講師	高橋 成明 (55) <令和5年4月> 修士 (文学)
		ほとけの世界
兼任	講師	森 征樹 (53) <令和4年4月> 哲学・歴史学 修士
		日本国憲法
兼任	講師	廣瀬 謙則 (60) <令和3年4月> 理学士
		AIと世界(未開講) 教職とICT(未開講)

兼任	講師	宗田 好史 (64) ＜令和3年4月＞ 博士 (工学)	世界遺産と観光
兼任	講師	範 衍麗 (45) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	身体技法(ダンス)
兼任	講師	早川 和生 (69) ＜令和3年4月＞ 医学 博士	現代社会と医療 世界の医療課題
兼任	講師	岡部 美香 (51) ＜令和3年4月＞ 博士 (人間 科学)	教育原理
兼任	講師	曾我部 和馬 (33) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	教育原理 道徳教育の理論と方法
兼任	講師	米澤 好史 (60) ＜令和4年4月＞ 修士 (文学)	教育心理学 保育の心理学
兼任	講師	宮本 直美 (52) ＜令和4年4月＞ 教育学修士	特別支援教育
兼任	講師	木野(茂野)仁美 (44) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	幼児理解方法論
兼任	講師	東屋 晃世 (54) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	算数科内容論 算数科指導法
兼任	講師	吉垣 睦雄 (67) ＜令和4年4月＞ 教育学士	図画工作科内容論 図画工作科指導法
兼任	講師	笠 潤平 (62) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	授業実践研究Ⅰ (初等教材開発)
兼任	講師	岡本 文音 (61) ＜令和3年4月＞	音楽Ⅰ(表現技法) 音楽Ⅱ(表現技法) 茶道
兼任	講師	吉次(塩山)豊見 (44) ＜令和3年4月＞ 修士 (学校教育学)	幼児と人間関係 保育内容の指導法(人間関係)
兼任	講師	原田 昌幸 (60) ＜令和4年4月＞ 美術教育学修士	保育内容の指導法(造形表現) 表現技術(造形)
兼任	講師	澤 ひとみ (53) ＜令和4年4月＞ 学士 (教育学)	保育原理
兼任	講師	坂倉 史郎 (60) ＜令和3年4月＞ 学校教育学修士	保育者論

兼任	講師	宗田 好史 (64) ＜令和3年4月＞ 博士 (工学)	世界遺産と観光
兼任	講師	範 衍麗 (45) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	身体技法(ダンス) (未開講)
兼任	講師	早川 和生 (70) ＜令和3年4月＞ 医学 博士	現代社会と医療 (未開講) 世界の医療課題 (未開講)
兼任	講師	岡部 美香 (52) ＜令和3年4月＞ 博士 (人間 科学)	教育原理
兼任	講師	曾我部 和馬 (33) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	教育原理
兼任	講師		
兼任	講師	宮本 直美 (53) ＜令和4年4月＞ 教育学修士	特別支援教育
兼任	講師	木野(茂野)仁美 (44) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	幼児理解方法論
兼任	講師	東屋 晃世 (54) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	算数科内容論
兼任	講師	吉垣 睦雄 (67) ＜令和4年4月＞ 教育学士	図画工作科内容論
兼任	講師	笠 潤平 (62) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	授業実践研究Ⅰ (初等教材開発)
兼任	講師	岡本 文音 (62) ＜令和3年4月＞	音楽Ⅰ(表現技法) 茶道
兼任	講師	吉次(塩山)豊見 (44) ＜令和3年4月＞ 修士 (学校教育学)	幼児と人間関係
兼任	講師	原田 昌幸 (61) ＜令和4年4月＞ 博士 美術教育学修士	表現技術(造形)
兼任	講師	馬場 住子 (64) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	保育原理
兼任	講師	坂倉 史郎 (61) ＜令和3年4月＞ 学校教育学修士	保育者論

兼任	講師	宗田 好史 (65) ＜令和3年4月＞ 博士 (工学)	世界遺産と観光
兼任	講師	範 衍麗 (46) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	身体技法(ダンス)
兼任	講師	早川 和生 (71) ＜令和3年4月＞ 医学 博士	現代社会と医療 世界の医療課題
兼任	講師	岡部 美香 (52) ＜令和3年4月＞ 博士 (人間 科学)	教育原理
兼任	講師	森 七恵 (27) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	教育原理
兼任	講師	米澤 好史 (60) ＜令和4年4月＞ 修士 (文学)	教育心理学 保育の心理学
兼任	講師	宮本 直美 (53) ＜令和4年4月＞ 教育学修士	特別支援教育
兼任	講師	木野(茂野)仁美 (45) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	幼児理解方法論
兼任	講師	東屋 晃世 (54) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	算数科内容論
兼任	講師	吉垣 睦雄 (67) ＜令和4年4月＞ 教育学士	図画工作科内容論
兼任	講師	笠 潤平 (63) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	授業実践研究Ⅰ (初等教材開発)
兼任	講師	岡本 文音 (62) ＜令和3年4月＞	音楽Ⅰ(表現技法) 音楽Ⅱ(表現技法) 茶道
兼任	講師	吉次(塩山)豊見 (45) ＜令和3年4月＞ 修士 (学校教育学)	幼児と人間関係
兼任	講師	原田 昌幸 (61) ＜令和4年4月＞ 博士 美術教育学修士	表現技術(造形)
兼任	講師	馬場 住子 (64) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	保育原理
兼任	講師	坂倉 史郎 (62) ＜令和3年4月＞ 学校教育学修士	保育者論

兼任	講師	宗田 好史 (66) ＜令和3年4月＞ 博士 (工学)	世界遺産と観光 (未開講)
兼任	講師	範 衍麗 (47) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	身体技法(ダンス) (未開講)
兼任	講師	早川 和生 (72) ＜令和3年4月＞ 医学 博士	現代社会と医療 (未開講) 世界の医療課題 (未開講)
兼任	講師	岡部 美香 (53) ＜令和3年4月＞ 博士 (人間 科学)	教育原理
兼任	講師	森 七恵 (28) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	教育原理
兼任	講師	米澤 好史 (61) ＜令和4年4月＞ 修士 (文学)	教育心理学 保育の心理学
兼任	講師	宮本 直美 (54) ＜令和4年4月＞ 教育学修士	特別支援教育
兼任	講師	木野(茂野)仁美 (46) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	幼児理解方法論
兼任	講師	東屋 晃世 (55) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	算数科内容論 算数科指導法
兼任	講師	吉垣 睦雄 (68) ＜令和4年4月＞ 教育学士	図画工作科内容論 図画工作科指導法
兼任	講師	笠 潤平 (63) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	授業実践研究Ⅰ (初等教材開発)
兼任	講師	岡本 文音 (63) ＜令和3年4月＞	音楽Ⅰ(表現技法) 音楽Ⅱ(表現技法) 茶道 (未開講)
兼任	講師	壺田 瑞穂 (51) ＜令和4年3月＞ 修士 (学校教育学)	幼児と人間関係 保育内容の指導法(人間関係)
兼任	講師	原田 昌幸 (62) ＜令和4年4月＞ 博士 美術教育学修士	表現技術(造形) 保育内容の指導法(造形表現)
兼任	講師	石上 浩美 (61) ＜令和6年4月＞ 修士 (教育学)	保育原理
兼任	講師	坂倉 史郎 (63) ＜令和3年4月＞ 学校教育学修士	保育者論

兼任	講師	宗田 好史 (67) ＜令和3年4月＞ 博士 (工学)	世界遺産と観光
兼任	講師	範 衍麗 (48) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	身体技法(ダンス) (未開講)
兼任	講師	早川 和生 (72) ＜令和3年4月＞ 医学 博士	現代社会と医療 (未開講) 世界の医療課題 (未開講)
兼任	講師	岡部 美香 (54) ＜令和3年4月＞ 博士 (人間 科学)	教育原理
兼任	講師	高木 万由美 (30) ＜令和6年4月＞ 修士 (教育学)	教育原理
兼任	講師	米澤 好史 (62) ＜令和4年4月＞ 修士 (文学)	教育心理学
兼任	講師	宮本 直美 (55) ＜令和4年4月＞ 教育学修士	特別支援教育
兼任	講師	木野(茂野)仁美 (46) ＜令和3年4月＞ 修士 (教育学)	
兼任	講師	東屋 晃世 (56) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	算数科内容論 算数科指導法
兼任	講師	吉垣 睦雄 (69) ＜令和4年4月＞ 教育学士	図画工作科内容論 図画工作科指導法
兼任	講師	笠 潤平 (64) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	授業実践研究Ⅰ (初等教材開発)
兼任	講師	岡本 文音 (64) ＜令和3年4月＞	音楽Ⅰ(表現技法) 音楽Ⅱ(表現技法) 茶道
兼任	講師	壺田 瑞穂 (52) ＜令和4年3月＞ 修士 (学校教育学)	幼児と人間関係 保育内容の指導法(人間関係)
兼任	講師	原田 昌幸 (62) ＜令和4年4月＞ 博士 美術教育学修士	表現技術(造形) 保育内容の指導法(造形表現)
兼任	講師	石上 浩美 (62) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)	保育原理
兼任	講師	坂倉 史郎 (63) ＜令和3年4月＞ 学校教育学修士	保育者論

兼任 講師		釜島 美智代 (58) ＜令和3年4月＞ 経済学士
		子どもの保健
兼任 講師		明神 規子 (71) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
		保育社内容総論 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ
兼任 講師		前 亜紀子 (43) ＜令和3年4月＞ 修士 (臨床心理学)※
		障害児保育
兼任 講師		竹田 義 (65) ＜令和3年4月＞ 博士 (農学)
		植物栽培の基本
兼任 講師		那須 義次 (66) ＜令和3年4月＞ 博士 (農学)
		自然と人間
兼任 講師		浅井 雅宏 (62) ＜令和3年4月＞ 美術 学士
		日本文化
兼任 講師		松田 修 (68) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		進路指導・キャリア教育
兼任 講師		松田 修 (68) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		特別活動の指導法
兼任 講師		渋谷 (川島部) 郁子 (41) ＜令和4年4月＞ 博士 (文学)
		子どもの保健 家庭支援の心理学 発達心理学
兼任 講師		香田 健治 (55) ＜令和4年4月＞ 修士 (学校教育学)
		幼児と言葉 保育内容の指導法(言葉)
兼任 講師		
兼任 講師		
兼任 講師		服部 敏一 (62) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
		道徳教育の理論と方法
兼任 講師		宮田 永胆 (74) ＜令和5年4月＞ 文学士 (密教学)
		常用経典 声明
兼任 講師		北川 真寛 (47) ＜令和5年4月＞ 修士 (密教学)
		法式
兼任 講師		

兼任 講師		釜島 美智代 (58) ＜令和3年4月＞ 経済学士
		子どもの保健
兼任 講師		明神 規子 (71) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
		保育社内容総論 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ
兼任 講師		前 亜紀子 (44) ＜令和3年4月＞ 修士 (臨床心理学)※
		障害児保育
兼任 講師		竹田 義 (65) ＜令和3年4月＞ 博士 (農学)
		植物栽培の基本
兼任 講師		那須 義次 (66) ＜令和3年4月＞ 博士 (農学)
		自然と人間
兼任 講師		浅井 雅宏 (62) ＜令和3年4月＞ 美術 学士
		日本文化
兼任 講師		松田 修 (68) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		進路指導・キャリア教育
兼任 講師		松田 修 (68) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		特別活動の指導法
兼任 講師		渋谷 (川島部) 郁子 (41) ＜令和4年4月＞ 博士 (文学)
		子どもの保健 家庭支援の心理学 発達心理学
兼任 講師		香田 健治 (55) ＜令和4年4月＞ 修士 (学校教育学)
		幼児と言葉 保育内容の指導法(言葉)
兼任 講師		
兼任 講師		
兼任 講師		服部 敏一 (62) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
		道徳教育の理論と方法
兼任 講師		宮田 永胆 (74) ＜令和5年4月＞ 文学士 (密教学)
		常用経典 声明
兼任 講師		北川 真寛 (47) ＜令和5年4月＞ 修士 (密教学)
		法式
兼任 講師		

兼任 講師		釜島 美智代 (59) ＜令和3年4月＞ 経済学士
		子どもの保健
兼任 講師		明神 規子 (71) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
		保育社内容総論 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ
兼任 講師		前 亜紀子 (44) ＜令和3年4月＞ 修士 (臨床心理学)※
		障害児保育
兼任 講師		竹田 義 (66) ＜令和3年4月＞ 博士 (農学)
		植物栽培の基本
兼任 講師		那須 義次 (67) ＜令和3年4月＞ 博士 (農学)
		自然と人間
兼任 講師		浅井 雅宏 (63) ＜令和3年4月＞ 美術 学士
		日本文化
兼任 講師		濱川 昌人 (65) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		進路指導・キャリア教育
兼任 講師		渋谷 (川島部) 郁子 (41) ＜令和4年4月＞ 博士 (文学)
		子どもの保健 家庭支援の心理学 発達心理学 (未開講)
兼任 講師		香田 健治 (55) ＜令和4年4月＞ 修士 (学校教育学)
		幼児と言葉
兼任 講師		和井田 祐司 (36) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
兼任 講師		地域体験特論
兼任 講師		山上 祐輝 (40) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
兼任 講師		地域体験Ⅱ 地域体験Ⅳ
兼任 講師		小林 聖太 (40) ＜令和4年4月＞ 博士 (教育学)
		道徳教育の理論と方法
兼任 講師		宮田 永胆 (74) ＜令和5年4月＞ 文学士 (密教学)
		常用経典 (未開講) 声明 (未開講)
兼任 講師		北川 真寛 (47) ＜令和5年4月＞ 修士 (密教学)
		法式 (未開講)
兼任 講師		

兼任 講師		釜島 美智代 (60) ＜令和3年4月＞ 経済学士
		子どもの保健
兼任 講師		明神 規子 (72) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
		保育社内容総論 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ
兼任 講師		前 亜紀子 (45) ＜令和3年4月＞ 修士 (臨床心理学)※
		障害児保育
兼任 講師		竹田 義 (67) ＜令和3年4月＞ 博士 (農学)
		植物栽培の基本 (未開講)
兼任 講師		那須 義次 (68) ＜令和3年4月＞ 博士 (農学)
		自然と人間
兼任 講師		浅井 雅宏 (64) ＜令和3年4月＞ 美術 学士
		日本文化 (未開講)
兼任 講師		濱川 昌人 (66) ＜令和4年4月＞ 教育学修士
		進路指導・キャリア教育
兼任 講師		松田 忠喜 (65) ＜令和5年4月＞ 教育学士
		特別活動の指導法
兼任 講師		渋谷 (川島部) 郁子 (42) ＜令和4年4月＞ 博士 (文学)
		子どもの保健 家庭支援の心理学 発達心理学
兼任 講師		香田 健治 (56) ＜令和4年4月＞ 修士 (学校教育学)
		幼児と言葉 保育内容の指導法(言葉)
兼任 講師		和井田 祐司 (36) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
兼任 講師		地域体験特論
兼任 講師		山上 祐輝 (41) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
兼任 講師		地域体験Ⅱ 地域体験Ⅳ
兼任 講師		小林 聖太 (41) ＜令和4年4月＞ 博士 (教育学)
		道徳教育の理論と方法
兼任 講師		宮田 永胆 (74) ＜令和5年4月＞ 文学士 (密教学)
		常用経典 (未開講) 声明 (未開講)
兼任 講師		北川 真寛 (47) ＜令和5年4月＞ 修士 (密教学)
		法式 (未開講)
兼任 講師		

兼任 講師		釜島 美智代 (61) ＜令和3年4月＞ 経済学士
		子どもの保健
兼任 講師		明神 規子 (73) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
		保育社内容総論 乳児保育Ⅰ 乳児保育Ⅱ
兼任 講師		前 亜紀子 (46) ＜令和3年4月＞ 修士 (臨床心理学)※
		障害児保育
兼任 講師		竹田 義 (68) ＜令和3年4月＞ 博士 (農学)
		植物栽培の基本 (未開講)
兼任 講師		那須 義次 (69) ＜令和3年4月＞ 博士 (農学)
		自然と人間
兼任 講師		浅井 雅宏 (65) ＜令和3年4月＞ 美術 学士
		日本文化
兼任 講師		松田 忠喜 (66) ＜令和5年4月＞ 教育学士
		進路指導・キャリア教育 特別活動の指導法
兼任 講師		渋谷 (川島部) 郁子 (43) ＜令和4年4月＞ 博士 (文学)
		子どもの保健 家庭支援の心理学 発達心理学
兼任 講師		香田 健治 (57) ＜令和4年4月＞ 修士 (学校教育学)
		幼児と言葉 保育内容の指導法(言葉)
兼任 講師		和井田 祐司 (37) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
兼任 講師		地域体験特論
兼任 講師		山上 祐輝 (42) ＜令和4年4月＞ 修士 (教育学)
兼任 講師		地域体験Ⅱ 地域体験Ⅳ
兼任 講師		小林 聖太 (42) ＜令和4年4月＞ 博士 (教育学)
		道徳教育の理論と方法
兼任 講師		宮田 永胆 (74) ＜令和5年4月＞ 文学士 (密教学)
		常用経典 (未開講) 声明 (未開講)
兼任 講師		北川 真寛 (47) ＜令和5年4月＞ 修士 (密教学)
		法式 (未開講)
兼任 講師		山口 文章 (63) ＜令和6年4月＞ 農学修士
兼任 講師		法式 布教

兼任	講師	大西 誠子 (65) <令和5年4月> 文学士
		教師力養成特講Ⅰ (HRマネジメント)
兼任	講師	本村 奏子 (73) <令和5年4月> 準学士
		教師力養成特講Ⅱ (学校理解)
兼任	講師	中野 弘治 (61) <令和5年4月> 社会福祉 学士
		心理身体論Ⅱ
兼任	講師	下倉 雅行 (50) <令和5年4月> 修士(工学)
		教育方法論・ICT活用論 情報と教育

兼任	講師	
兼任	講師	
兼任	講師	
兼任	講師	

兼任	講師	
兼任	講師	
兼任	講師	
兼任	講師	

兼任	講師	大西 誠子 (65) <令和5年4月> 文学士
		教師力養成特講Ⅰ (HRマネジメント)
兼任	講師	本村 奏子 (73) <令和5年4月> 準学士
		教師力養成特講Ⅱ (学校理解)
兼任	講師	中野 弘治 (61) <令和5年4月> 社会福祉 学士
		心理身体論Ⅱ
兼任	講師	下倉 雅行 (50) <令和5年4月> 修士(工学)
		教育方法論・ICT活用論 情報と教育
兼任	講師	松田 正貴 (49) <令和5年4月> 博士(文学)
		British Literature American Literature
兼任	講師	岡本 正志 (74) <令和5年4月> 教育学修士
		科学技術と社会(未開講) 地域体験特論
兼任	講師	松本(瀧澤) 歩子 (38) <令和5年4月> 博士 (学術)
		家庭科内容論 家庭科指導法 子どもの食と栄養(未開講)

兼任	講師	大西 誠子 (66) <令和5年4月> 文学士
		教師力養成特講Ⅰ (HRマネジメント)
兼任	講師	本村 奏子 (74) <令和5年4月> 準学士
		教師力養成特講Ⅱ (学校理解)
兼任	講師	中野 弘治 (62) <令和5年4月> 社会福祉 学士
		心理身体論Ⅱ
兼任	講師	下倉 雅行 (51) <令和5年4月> 修士(工学)
		教育方法論・ICT活用論
兼任	講師	松田 正貴 (50) <令和5年4月> 博士(文学)
		British Literature American Literature
兼任	講師	岡本 正志 (75) <令和5年4月> 教育学修士
		科学技術と社会 地域体験特論
兼任	講師	井出 慶子 (65) <令和6年9月> 学士 (家政学)
		家庭科内容論 家庭科指導法 子どもの食と栄養
兼任	講師	藤 大樹 (54) <令和6年4月> 文学修士
		情報と教育
兼任	講師	佐々木 聡 (43) <令和6年4月> 修士(学校教育)
		保育の心理学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・佐藤慶治専任講師就任辞退により、植田恵理子准教授に変更。令和3年5月AC教員審査済み。
- ・青木宏樹准教授就任辞退により、本山司専任講師に変更。令和3年7月AC教員審査に提出中。令和3年8月AC教員審査結果伝達済み。

【令和4年度】

- ・専任伊藤佳世子教授の担当コマ数を軽減するため、「English CommunicationⅡ」を森本教子専任講師に変更。AC教員審査提出予定。

【令和5年度】

- ・岡本正志教授は、自己都合により、令和5年3月末に退職したため、担当科目を引き続き兼任講師として担当する。
- ・松本歩子准教授は、自己都合により、令和5年3月末に退職したため、担当科目を引き続き兼任講師として担当する。
- ・副学長・教授 吉田明史を新規に追加する。AC教員審査出予定。
- ・森崎雅好准教授は本学文学部密教学科の教授となり、兼任教授に変更。
- ・兼任講師・永島龍弘退職により高橋成明に変更。
- ・兼任講師・馬場住子退職により石上浩美に変更。
- ・兼任講師・濱川昌人退職により松田忠喜に変更。
- ・「教育方法論」を「教育方法論・ICT活用論」に授業科目名称を変更、同時に兼任講師下倉雅行が担当し、「情報と教育」を担当する。
- ・兼任講師・松田正貴は中・高（英語）教諭免許認可の為、「British Literature」「American Literature」を担当する。

【令和6年度】

- ・兼任講師・松本歩子退職により井出麻子に変更。
- ・兼任講師・森七恵が退職により岡部／高木万由葉に変更。
- ・兼任講師・濱川昌人が退職により松田忠喜に変更。
- ・兼任講師・茂野仁美が退職により専任准教授清瀬淳に変更。
- ・兼任講師・宮田永明から兼任教授添田隆昭に変更。
- ・兼任講師・北川真寛から山口文章に変更。
- ・「情報と教育」兼任講師・下倉雅行、体調不良の為、森大樹に変更。
- ・「保育の心理学」兼任講師・米澤好史から、佐々木聡に変更。
- ・「幼児理解方法論」兼任講師の茂野仁美から専任准教授清瀬淳に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
	6 名
	3 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
7	8	2	0	17	0	8	5	2	0	15	0
[6]	[6]	[2]	[0]	[14]	[0]						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
8	5	2	0	15	0	8	5	2	0	15	0
[1]	[Δ3]	[-]	[-]	[Δ2]	[0]	[1]	[Δ3]	[-]	[-]	[Δ2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	9 名	9 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{17} = \boxed{88.23} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{9}{15} = \boxed{60} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
12	准教授	青木 宏樹	R3.4	必修	基礎ゼミⅠ	①	R3.4 病気療養のため就任辞退（3）			
				必修	専門基礎演習Ⅰ	①				
				必修	専門基礎演習Ⅱ	①				
				必修	専門演習Ⅰ	①				
				必修	専門演習Ⅱ	①				
				必修	卒業研究	①				
				選択	体育の理論と実技	①				
				選択	体育科内容論	①				
				選択	体育科指導法	①				
				選択	幼児と健康	①				
				選択	保育内容の指導法（健康）	①				
				選択	子どもの健康と安全	①				
				選択	保育実習Ⅰ（保育所）	①				
				選択	保育実習Ⅱ	①				
14	講師	佐藤 慶治	R3.4	必修	専門基礎演習Ⅰ	①	R3.4 介護のため遠方への就任ができず就任辞退（3）			
				必修	専門基礎演習Ⅱ	①				
				必修	専門演習Ⅰ	①				
				必修	専門演習Ⅱ	①				
				必修	卒業研究	①				
				選択	音楽科内容論	①				
				選択	音楽科指導法	①				
				選択	幼児と表現	①				
				選択	保育内容の指導法（音楽表現）	①				
				選択	表現技術（ピアノ）	①				
				選択	教育実習Ⅲ（幼2）	①				
				選択	教育実習の研究Ⅱ（幼2・事前事後指導）	①				
				選択	保育実践演習	①				
				合計（D）					後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
2	人	必修	11	科目	必修	11	科目	必修	0	科目
		選択	19	科目	選択	19	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	30	科目	計	30	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	岡本 正志	R5.3	選択	科学技術と社会	②	R5.3.31付け 自己都合のため辞任（5）
				選択	地域体験特論	②	
				必修	専門基礎演習Ⅰ	③	
				必修	専門基礎演習Ⅱ	③	
				必修	専門演習Ⅰ	③	
				必修	専門演習Ⅱ	③	
2	准教授	松本 歩子	R5.3	必修	卒業研究	③	R5.3.31付け 自己都合のため辞任（5）
				必修	家庭科内容論	②	
				必修	家庭科指導法	②	
				選択	保育実習の研究Ⅱ（幼1・事前事後指導）	①	
				選択	教育実習Ⅱ（幼1）	①	
				必修	基礎ゼミⅡ	①	
				必修	子どもの食と栄養	②	
				必修	地域体験Ⅱ	①	
				必修	専門基礎演習Ⅰ	③	
				必修	専門基礎演習Ⅱ	③	
				必修	専門演習Ⅰ	③	
				必修	専門演習Ⅱ	③	
選択	学校・保育現場ボランティア	①					
必修	卒業研究	③					

合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2	必修	12 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	10 科目
	選択	8 科目	選択	3 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	20 科目	計	5 科目	計	5 科目	計	10 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	必修	23 科目	必修	13 科目	必修	0 科目	必修	10 科目
	選択	27 科目	選択	22 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	50 科目	計	35 科目	計	5 科目	計	10 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{17} = 23.52 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		【該当なし】						
合計					後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任担当教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・ この度の就任辞退は、いずれもやむを得ない事由により、教員を補充して対応した。 ・ 学生に対しては、時間割等に掲載し、ガイダンス等でも説明した。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画	
認 可 時 (令和3年)	履修コースの決定は2年次進級時であるが、教員免許や保育士資格取得のために必要な科目の一部は1年次から開講されるため、履修ガイダンス等を確実に実施し、学生の進路希望に応じた適切な履修指導を行うこと。また、いずれかのコースに希望者が偏る場合、大阪府内だけでなく隣県の実習先を用いる必要が生じるため、各学生の実習先をどのように調整するかを基準を定めるとともに、学生の理解が得られるよう丁寧に説明・周知を行うこと。	【認可】 遵守事項 履修ガイダンス及びアドバイザーによる定期的な履修指導を行い、学生の進路希望に応じた指導に努めている。 また、いずれかのコースに希望者が偏る場合に、各学生の実習先をどのように調整するかを基準を定めておくように準備を始める。 (令和3年度) 2年次進級時に履修コースについて、学生にアンケートを取り、コースを決定した。児童教育コース9名、幼児教育コース2名となり、今年度の実習先については調整する必要はなかった。今後は学生の希望を聞きながら、各コース15名以上になった場合は、大阪市や堺市教育委員会との連携により、実習先の調整を行うこととする。 (令和4年度)	履行済	
認 可 時 (令和3年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項 教員の組織編成においては、将来構想を踏まえて重要課題として位置付けて令和2年8月提出の教員構成推移に基づき検討を重ねている。	履行中	
認 可 時 (令和3年)	新設学科において、確実に学生を確保できるよう、戦略的に取り組むこと。 理事の構成が特定の法人関係者に偏っていることから、その構成の見直しについて検討すること。 理事会及び評議員会が書面での持ち回りで行われていたことから、集会の形式により行うこと。	【認可】 助言事項 【認可】 助言事項 【認可】 助言事項	履行中 履行済 履行中	広報活動を精査するとともに、他大学における好事例集を参考に検討する。

	<p>法人本部とは別地のキャンパスに新設学科を設置することから、新設学科の業務を適切に執行するための事務処理体制について、計画どおり整備すること。</p> <p>完成年度における法人全体の基本金組入前当年度収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</p> <p>寄附行為上、既に廃止認可された高野山幼稚園についての記載があることから、速やかに適切な手続きを行うこと。</p>	<p>【認可】 助言事項</p> <p>【認可】 助言事項</p> <p>【認可】 助言事項</p>	<p>週1回の執行部会議及び連絡会議を頻繁に設定し、業務を適切に執行するよう努めている。</p> <p>中長期的な財政計画の策定し、経営基盤の安定確保に努める。</p> <p>すでに寄附行為の変更手続きを行った。</p>	<p>履行中</p> <p>履行中</p> <p>履行済</p>	
<p>設置計画履行状況調査時 (令和3年度)</p>	<p>○定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (文学部教育学科)</p> <p>○教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (文学部教育学科)</p>	<p>【A C】 指摘事項 (改善)</p>	<p>教員の組織編成においては、将来構想を踏まえて重要課題として位置付けて令和2年8月提出の教員構成推移に基づき再度、教員の組織構成について検討を重ねている。</p> <p>教育内容の充実を努め、高校生等に魅力、特色をあらゆる方法で発信し、入学生確保に務める。</p>	<p>履行中</p> <p>履行中</p>	

<p>設置計画履行状況調査時 (令和4年度)</p>	<p>○定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (文学部教育学科)</p>	<p>【A C】 指摘事項 (改善)</p>	<p>完成年度後（令和7年度）に入学定員の見直しについて、令和6年度中に理事会等で決定し、入学定員に添って、教員数をあらためて決定する予定です。 完成年度までは入学定員50名に対して17人の教員で運営すると計画していますが、入学定員の見直しにより、14人の教員組織編制とする予定です。17人のうち、定年規程により、65歳以上については、完成年度を持って退職とし、あらたに、30代、40代の教員を公募する予定です。</p>	<p>履行中</p>
	<p>○教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (文学部教育学科)</p>	<p>【A C】 指摘事項 (改善)</p>	<p>令和4年度の改善については、以下のとおり、履行状況調査報告書 6. 附帯事項に記載して再提出します。 ・特長を明確化し、高校訪問等で案内、特にストロングポイント(少人数制教育によるきめ細やかな指導)などをSNSの活用(LINE、X(旧ツイッター)など)により、発信しました。 ・入学者の目標値を共有して、資料請求者数、オープンキャンパス参加者数、出願者数、歩留率を共有し、入学者確保に向けて、改善を検討しました。 ・オープンキャンパスは、3月から9回実施し、さらに、進学相談会を2回実施しました。そのほか、「毎日オープンキャンパス」をホームページで案内し対応しました。 ・学校推薦型選抜、総合型選抜を重視して、入学者確保に努めました。 ・高校生との接点を拡大し、学科の認知度、好感度を高める広報体制を見直しました。(ホームページのリニューアル、SNS等で情報を頻繁に発信することにより、フォロワー数が増加、リスティング広告を実施、動画制作によるPR) ・地域連携イベントに参加し、地域への理解を深めました。近隣道路に看板等を設置して、PRも強化しました。 ・指定校を増やして、高校訪問体制を見直した。さらに、強い繋がりを持つ高等学校を関連校として、「関連校特待生制度」をあらたに設けて、入試成績の優秀者に対して、授業料免除を実施しました。</p>	<p>履行中</p>

<p>設置計画履行状況調査時 (令和5年度)</p>	<p>○収容定員充足率が0.23倍と著しく低い。教育内容の特色とニーズに乖離があるように見受けられることから、志願者等のニーズを把握するための調査を行うなど、客観的根拠となるデータ等の分析を踏まえた上で、教育内容の更なる充実を図りつつ、より効果的な学生募集のための施策を講じることにより、収容定員の更なる充足に努めること。また、当該分析を踏まえ、収容定員の見直しも検討すること。(文学部教育学科)</p> <p>○令和5年度より本学科に設けた「中等英語教育コース」は、既存の児童教育コース及び幼児教育コースにおいて、小学校教諭や幼稚園教諭、保育士の免許取得に必要な科目を修得することに加えて、中学校教諭(英語)及び高等学校教諭(英語)の免許取得に必要な科目を修得するものであることを踏まえれば、「中等英語教育コース」も履修する学生は必要な修得単位数が多くなることから、修業年限にわたって計画的な履修が重要になる。しかしながら、既存のコースと「中等英語教育コース」の履修に必要な単位数の検討が不十分であり、適切な履修指導が行われていない懸念があるため、「中等英語教育コース」も希望する学生に対して早急に履修モデルを示すなど、本学科の設置の趣旨を踏まえた適切な履修指導を行うこと。(文学部教育学科)</p> <p>○定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を着実に実行すること。(文学部教育学科)</p> <p>○専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。(文学部教育学科)</p>	<p>【A C】 指摘事項 (是正)</p> <p>【A C】 改善意見</p> <p>【A C】 指摘事項 (改善)</p> <p>【A C】 指摘事項 (改善)</p>	<p>指摘事項を受け、教育学科では、各高校訪問時に高等学校側および高校生のニーズを聞き取り、内容をまとめた上、カリキュラム委員会で検討することとしている。直近では、令和6年6月4日に委員会を開催予定。また、収容定員の見直しについても、理事会で検討している。</p> <p>ご指摘事項のとおり、適切な履修指導のため、別紙のとおり、履修モデル(資料1)を示して指導している。</p> <p>ご指摘事項のとおり、教員組織編制の将来構想に基づき、実行している。</p> <p>ご指摘事項のとおり、教員の採用計画を確実に履行するよう努めている。</p>	<p>履行中</p> <p>履行中</p> <p>履行中</p> <p>履行中</p>	
--------------------------------	--	--	---	---	--

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 124単位 必修科目94単位、選択科目30単位 ② 施設・設備 a 講義室34室、演習室10室、実験実習室8室、情報処理 学習施設2室、語学学習施設1室 c 図書は大学全体322,327冊	① 履修年次を再度検討し、教育課程の充実を図る。 ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室等 アメニティスペースを拡げるように検討する。 図書は必要に応じて購入する。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 FD・SD委員会を設置し、年間計画を作成中。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） FD・SD委員会を月に1回程度、開催して授業改善に努めている。 c 委員会の審議事項等 授業中間アンケートを実施し、授業改善について、分析する。 ② 実施状況 a 実施内容 ・教員の相互の授業参観について検討。 ・教員の研修会内容について検討。 ・新任教職員の研修会を実施。 b 実施方法 ・教職員全員が研修会に参加できるように工夫する。 c 開催状況（教員の参加状況含む） ・5月に1回開催した。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・令和5年度より。授業の中間にアンケートを実施し、授業改善に取り組んでいる。 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 ・各開講時期に中間と最終にアンケートを実施している。 b 教員や学生への公開状況、方法等 ・集計結果を学生に公開する。方法については検討中。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価】

大学基準協会の2022（令和4）年度、改善報告書検討結果として、2021（令和3）年度に新設した文学部教育学科について、収容定員に対する在籍学生数比率が低く、入学定員に対する入学者数比率の学部開設以降の平均が低くなっているため、改善が望まれる。

【所見】

教育内容の充実に努め、高校生等に魅力、特色をあらゆる方法で発信し、入学生確保に務めていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年12月末日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和6年12月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和7年度大学基準協会の評価を受審するための準備を進めている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

履修年次		具体的な科目名称				
年次	時期	教育の基礎的理解に関する科目等	教科に関する専門的事項に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他必修科目等	
		科目名称				
1年次	前期	基礎ゼミⅠ	Critical Thinking and Creative Writing	日本国憲法	空海の思想入門	
		教育原理	British Literature		ほとけの世界	
		教職入門	国語科内容論	情報と教育	地域体験基礎	
			家庭科内容論	体育の理論と実技	科学技術と社会	
	後期	基礎ゼミⅡ	American Literature			キャリアデザインⅠ
			Phonetics in Education			日本文化
			理科内容論			
			社会科内容論			
			音楽科内容論			
			初等英語科内容論			
			書学入門(書道)			
	通年			学校・保育現場体験Ⅰ	English CommunicationⅠ	地域体験Ⅰ
						地域体験Ⅱ
2年次	前期	基礎ゼミⅢ	第二言語習得概論		キャリアデザインⅡ	
		英語科指導法Ⅰ	異文化理解Ⅰ		介護等体験	
		特別支援教育	生活科内容論			
		教育相談	体育科内容論			
		教育課程論	国語科指導法			
		生徒指導論	理科指導法			
		進路指導・キャリア教育	社会科指導法			
			初等英語科指導法			
	後期	基礎ゼミⅣ	Intensive Reading			
		英語科指導法Ⅱ	異文化理解Ⅱ			
		教育心理学				
		教育と社会	算数科内容論			
		道徳教育の理論と方法	図画工作科内容論			
			家庭科指導法			
			音楽科指導法			
	通年		English CommunicationⅡ	学校・保育現場体験Ⅱ		地域体験Ⅲ
						地域体験Ⅳ
3年次	前期	専門基礎演習Ⅰ	English CommunicationⅢ		生涯学習論	
		英語科指導法Ⅲ	体育科指導法		平和教育	
		特別活動の指導法	生活科指導法			
		教育方法論・ICT活用論	図画工作科指導法			
		総合的な学習の時間の指導法	海外留学体験			
	後期	専門基礎演習Ⅱ	算数科指導法			人権と社会
		英語科指導法Ⅳ				
	通年	教育実習Ⅰ(小)		学校・保育現場ボランティア		
		教育実習の研究Ⅰ(小事前事後指導)				
	4年次	前期	専門演習Ⅰ			
専門演習Ⅱ						
後期		教職実践演習(幼・小・中・高)				
		卒業研究				
		教育実習の研究Ⅳ(中・高事前事後指導)				
通年	教育実習Ⅳ(中・高)					

2024年度 高野山大学 教育学科
第1回 FSDS 研修会実施要項

1. テーマ

ICT活用について ～NHK for School～の活用事例～

2. 背景・目的

近年、授業へのICT活用を促進する流れとなっていますが、具体的にどのように、どの程度組み入れることが有効であるのかについて工夫が求められつつも、まだまだ不明瞭な部分が多いと考えられます。そのような中、小学校現場では、NHK for Schoolの番組を授業に組み入れ、生徒の興味・関心を集めている事例が多く存在しています。

そこで、このたび、授業へのICT活用を考える一つのきっかけとして、NHK for Schoolの内容を視聴し、授業への改善や工夫に役立てていきたいとの主旨から、NHK財団の方に具体的な取り組みについてご紹介いただくことといたしました。

日々教育学科の業務に携わる職員も参考になると思いますので、皆様におかれましては可能な限り研修にご参加くださいますようお願いいたします。

3. 日時・場所

2024年5月15日(水) 15時～16時30分 高野山大学 河内長野キャンパス
事務室奥の会議室

4. 講師

NHK財団 専門委員 合田 敏行 氏

なお、司会等運営は、NHK財団 堀田伸一氏が担当されます。

5. 出席者

高野山大学文学部教育学科 教職員
大阪千代田短期大学 教職員

その他、高野山キャンパス事務職員も出席可能です。参加希望者は、河内長野キャンパス事務室奥田まで(okuda@koyasan-u.ac.jp)ご連絡ください。

なお、当日は、高野山大学密教学科教授会が予定されております。

密教学科の先生方をはじめ、日をあらためて視聴を希望される方には、あらためて、機会を設定させていただきます。次回の案内をお待ち下さい。

6. その他

以上

問い合わせ先
高野山大学河内長野キャンパス
事務室 奥田 晃子
okuda@koyasan-u.ac.jp
0721-53-1101